

甲斐市立 双葉東小学校 学校関係者評価書(前期)

平成22年 8月5日(木)

甲斐市立 双葉東小学校 学校関係者評価委員会作成

第1回学校関係者評価委員会

実施日 平成22年 7月27日(火)午後7時30分～

会場 双葉東小学校会議室

参加者 (学校関係者評価委員)

学校評議員 乙黒 健・長谷部 集・中村めぐみ・古澤みどり
石塚邦夫・大澤健次郎

PTA 代表 大澤 宏至・保坂 静恵

(学校側) 校長 中 千博

教 頭 甲田ふみ子

教務主任 大柴剛一

I 学校側から提案された内容

- ・自己評価(教職員)結果及び改善策について
- ・児童アンケート結果及び改善策について
- ・その他

II 協議された主な内容

- ・自己評価書の内容、回答について
- ・児童アンケート結果の中での課題
- ・学校のあるべき姿について

<学校関係者評価書>

I 全体評価

双葉東小学校の教職員による自己評価と児童用アンケート結果は、総じて良好の水準にあるといえる。多くの項目が肯定的方向で安定しており、日々の教育実践に対する評価は、比較的高い水準を維持していると言える。ただし、個々の項目の中から見えてくる課題に対してはその原因を探り、教職員集団が一つになって取り組む必要がある。

II 特 徴

- ・過去3年間に国や県の指定を受けて、道徳実践及び授業内容の充実に力を入れてきた。
- ・過去数年間に渡って取り組んで来たあいさつ運動への取り組みは、地域、家庭を巻き込んで広まりを見せてきている。
- ・ここ近年の傾向で児童数が増加してきている。そのため、ややもすると人間関係が希薄になる傾向もあり、問題が発生しやすくなっている。
- ・校長を中心に全ての教職員が子どもと向き合う努力をしている。
- ・数年間に渡る「朝読書」への取り組みは、子どもたちの学習への姿勢や生活態度によい影響を与えている。
- ・昨年度整備済みの「校庭芝生化」により外遊びに励む児童が多くなった。

Ⅲ 今後の課題として意識されたいこと

- ・「教職員の自己評価」では、最大回答数が A 評価の項目が多いが、B 評価が最大回答数である項目もある。また、ごく少数であるが C 評価・D 評価を選択する者もいた。その原因を把握し、今後役に立てることが必要である。
- ・「教職員の自己評価」の質問内容で「あなたは～」「保護者は～」「児童は～」などと数種に渡るが、聞き方の違いで回答にも違いが現われている。（「あなたは～」の質問項目の中では B 評価になるものがあった。）
- ・「教職員の自己評価」の「Ⅰ～学校教育目標・学校経営について 設問7～あなたの学校は、職場の福利厚生や健康管理について配慮がなされている。」で B 回答が割と多いことが話題となった。勤務時間以後の残務処理が多く、それが教職員による B 回答が多い理由であると考えられる。今後の課題として意識していきたい。
- ・「教職員の自己評価」の「Ⅱ～学校運営について 設問2～あなたは、危機管理（防犯・防災・事件・事故等）マニュアルを理解している。」で B 回答が割と多いことも話題となった。不審者の侵入防止については、長年進めてきた当番制の玄関係を児童との遊びの中で行うことにしたので、教職員の意識に影響したと考えられる。
- ・「児童用アンケート」では、回答を選びにくい項目があったので、ことばの言い回しを回答しやすいように検討して欲しい。
- ・「あいさつ運動」に長年取り組んできた学校であるので、あいさつに関わる質問に対してはもう少し A 評価の回答を増やす努力をして欲しい。
- ・生徒指導上、いじめにつながるような問題が生じないように、今後も教職員は児童と向き合っていくことが大切である。

※ 特記事項

- ・せっかく、学校評価の機会をあたえられたので、学校評価の数値結果が意味するものが何であるのかをしっかりと意識したい。学校関係者評価委員会を実施することにより広く意見を求め、保護者や地域と連携し学校を高めていきたいと思う。

記載責任者 双葉東小学校 学校関係者評価委員

氏名： 保坂 静恵 印